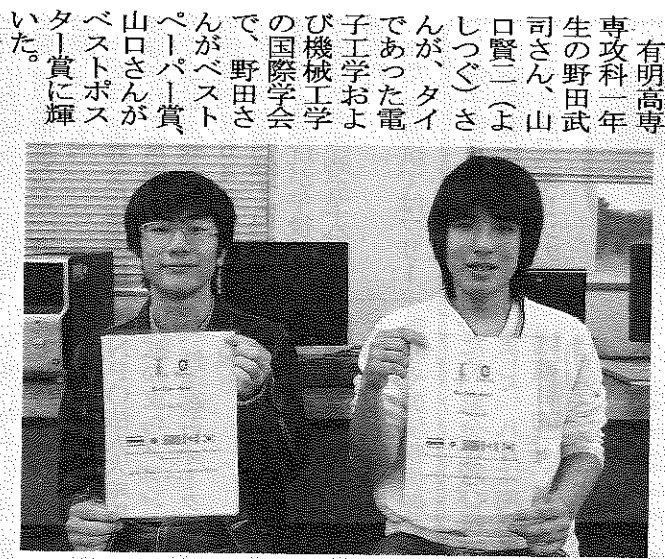


# 国際学会が研究評価

有明高専 専攻科 野田、山口さん受賞



受賞した野田、山口さん

有明高専 専攻科一年生の野田武司さん、山口賢二(よしづぐ)さんが、タイであった電子工学および機械工学の国際学会で、野田さんがベストペーパー賞、山口さんがベストポスター賞に輝いた。

野田さんは、ビリヤードでボールを、どうやったら最適にテーブルのポケットに入れられるか、カメラとコンピュータを使い、実際にテーブル上にライオンを示す装置の研究に取り組んでいる。今回はテーブル上のカメラと、プレイヤーの目近くに装着したカメラを使い、より最適なコース案内ができる論文を作成。学会で発表した。

「初めての国際学会。英語での発表で、質問の受け答えに苦労しました。今後は論文でまとめたことが、実現できるように取り組みます」と野田さん。

山口さんの研究は、コンピュータのサーバーを攻撃してくるコンピュータウイルスを防ぐ研究。山口さんが作ったシステムで実験したところ、無差別に送信されてくるウイルスを十一日間で三十五万回防いだという。学会では、その研究成果をポスターにまとめて会場に展示したという。

「ID、パスワードを抜き取るため、ブルートフォースという攻撃方法と、辞書攻撃といわれる攻撃方法に対応できます。コンピュータプログラムの専門家じゃなくても、扱いやすかったことが評価されたいと思います」と山口さん。